

表1 各指標の基本的統計量

一般市町村(n=1764)

	幾何平均	算術平均	最小	最大
保健師数(人)	7.3	10.3	1.0	73.0
保健師数(人口1万対人)	3.4	4.3	0.0	52.5
人口(人)	21,567	44,479	195	533,374
面積(km <sup>2</sup> )	103	195	3	2,179
高齢者割合(%)	23.7	24.7	9.0	52.5
第1次産業割合(%)	8.6	13.2	0.1	77.2
医師数(人口1万対人)	9.6	12.9	0.0	143.1
小学校(人口1万対校)	3.1	4.4	0.6	142.9
中学校(人口1万対校)	1.4	2.2	0.0	107.2
市町村合併歴	30.2%			

保健所設置市(n=80)

	幾何平均	算術平均	最小	最大
保健師数(人)	67.7	84.6	15.0	406.0
保健師数(人口1万対人)	1.5	1.5	1.0	3.5
人口(人)	460,889	605,100	43,210	3,518,095
面積(km <sup>2</sup> )	164	355	10	1,511
高齢者割合(%)	18.8	19.0	13.5	27.0
第1次産業割合(%)	0.8	1.8	0.0	8.4
医師数(人口1万対人)	24.9	31.6	9.4	284.2
小学校(人口1万対校)	1.3	1.4	0.9	2.5
中学校(人口1万対校)	0.7	0.8	0.4	4.4
市町村合併歴	37.5%			

表2 保健師数等を目的変数とした回帰分析の結果

一般市町村、保健師数が目的変数

	推定値	p	標準推定値	切片	MSE	決定係数
人口	-0.421	<.0001	-0.821	2.358	0.163	0.674
中学校数	0.623	<.0001	0.753	0.444	0.188	0.566
小学校数	0.632	<.0001	0.734	0.225	0.194	0.539
高齢者割合	0.028	<.0001	0.665	-0.149	0.213	0.442
第1次産業	0.016	<.0001	0.589	0.321	0.231	0.347
医師数	-0.276	<.0001	-0.300	0.807	0.272	0.090
面積	0.134	<.0001	0.247	0.262	0.277	0.061
合併	-0.015	0.3127	-0.024	0.536	0.286	0.001

一般市町村、人口で回帰分析した残差が目的変数

	推定値	p	標準推定値	切片	MSE	決定係数
面積	0.172	<.0001	0.555	-0.347	0.136	0.308
合併	0.171	<.0001	0.480	-0.051	0.143	0.230
小学校数	0.149	<.0001	0.303	-0.072	0.155	0.092
高齢者割合	0.007	<.0001	0.284	-0.166	0.156	0.081
中学校数	0.130	<.0001	0.276	-0.018	0.157	0.076
第1次産業	0.004	<.0001	0.241	-0.049	0.158	0.058
医師数	0.035	0.005	0.067	-0.035	0.163	0.005

保健所設置市、保健師数が目的変数

	推定値	p	標準推定値	切片	MSE	決定係数
中学校数	0.389	<.0001	0.558	0.224	0.080	0.311
小学校数	0.530	<.0001	0.555	0.103	0.080	0.308
人口	-0.152	<.0001	-0.497	1.026	0.084	0.247
高齢者割合	0.015	0.0001	0.415	-0.120	0.088	0.172
第1次産業	0.018	0.001	0.360	0.135	0.090	0.129
医師数	0.138	0.0013	0.354	-0.026	0.090	0.125
合併	0.049	0.0259	0.249	0.149	0.094	0.062
面積	-0.003	0.8744	-0.018	0.173	0.097	0.000

保健所設置市、人口で回帰分析した残差が目的変数

	推定値	p	標準推定値	切片	MSE	決定係数
小学校数	0.322	0.0004	0.389	-0.039	0.077	0.151
第1次産業	0.016	0.0005	0.380	-0.030	0.078	0.144
中学校数	0.204	0.0022	0.337	0.030	0.079	0.114
合併	0.057	0.0027	0.332	-0.021	0.079	0.110
面積	0.034	0.0179	0.264	-0.075	0.081	0.070
高齢者割合	0.008	0.0279	0.246	-0.148	0.081	0.061
医師数	0.066	0.0836	0.195	-0.092	0.082	0.038

MSE: 誤差の標準偏差

表3 保健師配置の状況(配置基準)

一般市町村

人口	保健師数(人)			
	平均 (中位基準)	+標準偏差 (高位基準)	+2×標準偏差 (先進的基準)	-標準偏差 (低位基準)
2,000	1.9	2.7	3.9	1.3
3,000	2.3	3.4	5.0	1.6
5,000	3.1	4.6	6.7	2.2
7,000	3.8	5.6	8.1	2.6
10,000	4.7	6.8	10	3.2
15,000	5.9	8.7	13	4.1
20,000	7.0	10	15	4.8
30,000	8.9	13	19	6.1
50,000	12	17	25	8.2
70,000	15	21	31	10
100,000	18	26	38	12
150,000	23	33	48	15
200,000	27	39	56	18

面積による加算(面積の大きな市町村においては補正係数をかける)

面積(km <sup>2</sup> )	補正係数
200	1.12
500	1.31
1,000	1.48
1,500	1.59

保健所設置市

人口	保健師数(人)			
	平均 (中位基準)	+標準偏差 (高位基準)	+2×標準偏差 (先進的基準)	-標準偏差 (低位基準)
100,000	19	22	27	15
150,000	26	32	38	22
200,000	33	40	49	27
300,000	47	57	69	39
500,000	73	88	107	60
700,000	97	117	142	80
1,000,000	131	158	192	108
1,500,000	184	224	271	152
2,000,000	235	285	346	194

小学校数による加算(人口1万対小学校数の大きな市においては補正係数をかける)

小学校数 (人口1万対)	補正係数
1.3	1.00
1.5	1.04
2.0	1.14
2.5	1.23

表4 保健師配置の状況と古市班による配置の目安の比較

一般市町村

人口	保健師配置の状況				古市班による基準	
	平均 (中位基準)	+標準偏差 (高位基準)	+2×標準偏差 (先進的基準)	-標準偏差 (低位基準)	本表	参考資料
2,000	1.9	2.7	3.9	1.3	2	1.4
3,000	2.3	3.4	5.0	1.6	2	1.6
5,000	3.1	4.6	6.7	2.2	4	2.1
7,000	3.8	5.6	8.1	2.6	4	2.5
10,000	4.7	6.8	10	3.2	4	3.1
15,000	5.9	8.7	13	4.1	4	4.2
20,000	7.0	10	15	4.8	4	5.2
30,000	8.9	13	19	6.1	4	6.3
50,000	12	17	25	8.2	13	9.8
70,000	15	21	31	10	13	13.4
100,000	18	26	38	12	13	18.7
150,000	23	33	48	15	20	27.5
200,000	27	39	56	18	26	36.4

保健所設置市

人口	保健師配置の状況				古市班による基準	
	平均 (中位基準)	+標準偏差 (高位基準)	+2×標準偏差 (先進的基準)	-標準偏差 (低位基準)	本表	参考資料
100,000	18.5	22.5	27.3	15.3	16	18.3
150,000	26.1	31.7	38.4	21.5	24	27.5
200,000	33.4	40.5	49.1	27.5	32	36.7
300,000	47.0	57.1	69.2	38.8	48	55.0
500,000	72.6	88.0	107	59.8	80	91.7
700,000	96.5	117.1	142	79.6	112	128.4
1,000,000	130.7	158	192	107.7	160	183.4
1,500,000	184.3	224	271	151.9	240	275.1
2,000,000	235	285	346	193.9	320	366.8

古市班:平成5年度厚生科学研究「保健婦の配置のガイドラインに関する研究」  
(主任研究者 古市圭治)

参考 保健師業務従事者届による保健所・市町村での業務に従事する保健師数の推移  
(保健・衛生行政業務報告(衛生行政報告例)による)

古市班では、平成4年12月末現在の保健婦配置状況を基礎に、平成11年時点での配置の目安を示している。

	保健所	市町村	計	指数
平成4年	8,835	12,563	21,398	100
6年	8,955	13,802	22,757	106
8年	8,887	15,641	24,528	115
10年	7,814	18,410	26,224	123
12年	7,630	20,646	28,276	132
14年	7,670	21,645	29,315	137
16年	7,635	22,313	29,948	140

表5 保健師活動時間割合を目的変数とした回帰分析の結果(一般市町村)

説明変数 活動内容	保健師数		人口		モデル切片	
	係数	p	係数	p	係数	p
家庭訪問	2.1097	0.2801	1.4915	0.1201	-0.4028	0.9357
保健指導	<b>-2.7476</b>	<b>0.0434</b>	0.4717	0.4783	3.9722	0.2526
健康相談	-0.5009	0.7969	0.2547	0.7897	6.0421	0.2258
健康診査	2.8407	0.4855	0.2279	0.9092	14.8058	0.1561
健康教育	<b>-7.7569</b>	<b>0.0009</b>	<b>-2.9744</b>	<b>0.0091</b>	26.7724	<.0001
デイケア	<b>0.9680</b>	<b>0.0270</b>	0.3350	0.1179	-1.3256	0.2351
機能訓練	0.1485	0.8831	-0.9156	0.0656	5.7495	0.0269
地区組織活動	-0.2909	0.8078	-0.2111	0.7189	4.1982	0.1707
予防接種	-0.5350	0.5042	-0.3237	0.4103	3.3069	0.1075
その他	<b>-2.4948</b>	<b>0.0473</b>	-0.5969	0.3321	6.2730	0.0513
調査研究	0.5379	0.7616	-0.9506	0.2751	6.9277	0.1276
地区管理	<b>4.7870</b>	<b>0.0431</b>	<b>2.7800</b>	<b>0.0168</b>	-6.5323	0.2795
個別会議	0.0380	0.9489	0.1572	0.5892	0.9717	0.5223
個別会議以外	0.5171	0.5846	0.6251	0.1787	-0.2981	0.9020
地域会議	-0.8097	0.5097	-1.1209	0.0636	8.6083	0.0065
地域会議以外	0.4748	0.6978	0.0958	0.8732	1.7601	0.5739
研修企画	0.2837	0.5356	<b>0.4463</b>	<b>0.0477</b>	-1.2522	0.2857
実習指導	-0.4006	0.6326	-0.6926	0.0930	4.4521	0.0387
業務管理	-0.6683	0.6408	0.6692	0.3413	0.0763	0.9834
業務連絡・事務	4.3218	0.1372	<b>2.9302</b>	<b>0.0404</b>	-3.0146	0.6848
研修参加	<b>-2.2710</b>	<b>0.0317</b>	<b>-1.6675</b>	<b>0.0014</b>	11.6901	<.0001
その他	1.4485	0.4197	-1.0314	0.2420	7.2194	0.1167

表6 回帰分析結果による、市町村の人口および保健師数別の各業務の時間割合(%)

人口	20,000	20,000	100,000	100,000	5000	5000	全体
保健師数	7	15	18	38	3	7	
家庭訪問	7.2	7.9	7.6	8.3	6.8	7.5	7.5
保健指導	4.5	3.6	5.6	4.7	3.6	2.6	5.1
健康相談	6.9	6.7	7.2	7.0	6.6	6.4	7.1
健康診査	17.3	18.3	16.7	17.6	17.9	18.9	16.9
健康教育	9.8	7.2	9.9	7.4	9.7	6.9	9.6
デイケア	0.6	1.0	0.6	0.9	0.7	1.0	0.7
機能訓練	1.9	1.9	1.2	1.3	2.5	2.5	1.5
地区組織活動	3.1	3.0	3.1	3.0	3.2	3.1	3.1
予防接種	1.6	1.4	1.6	1.4	1.7	1.5	1.6
その他	2.3	1.5	2.7	1.8	2.1	1.2	2.4
調査研究	3.1	3.3	2.3	2.5	3.8	4.0	2.5
地区管理	8.0	9.6	8.6	10.1	7.5	9.2	8.5
個別会議	1.7	1.7	1.8	1.8	1.6	1.6	1.7
個別会議以外	2.7	2.8	3.0	3.1	2.4	2.6	2.7
地域会議	3.3	3.1	2.8	2.5	3.8	3.5	3.0
地域会議以外	2.4	2.6	2.4	2.5	2.5	2.7	2.4
研修企画	0.8	0.9	1.1	1.1	0.6	0.7	1.0
実習指導	1.3	1.1	0.9	0.8	1.6	1.4	1.0
業務管理	2.6	2.4	3.3	3.0	2.0	1.8	3.1
業務連絡・事務	11.9	13.4	12.7	14.1	11.2	12.8	12.7
研修参加	3.3	2.5	2.8	2.0	3.8	2.9	2.9
その他	3.6	4.1	2.4	2.9	4.5	5.1	3.1
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

表7 保健師活動時間の内訳例

人口 10万人、保健師18人の市町村における状況  
高齢者人口 2万人、出生数 900人 程度

	業務時間割合 (%)	総業務時間	内訳例
<b>保健福祉事業</b>			
家庭訪問	7.6%	2460	母子:900人×40%×1.3回×2時間=936時間 老人:2万人×2%×1.5回×2時間=1200時間 成人・他:6万人×0.1%×3回×2時間=360時間
保健指導 (来所、電話)	5.6%	1824	母子・思春期:2万人×1%×2回×1時間=400時間 老人:2万人×2%×2回×1時間=800時間 成人・他:6万人×0.7%×1.5回×1時間=630時間
健康相談	7.2%	2329	200回×4時間×3人=2400時間 (200回×30人/回=6000人=人口の6%)
健康診査	16.7%	5401	母子:24回×4種類×4時間×5人=1920時間 老人:218回×4時間×4人=3488時間
健康教育	9.9%	3214	402回×4時間×2人=3216時間 (402回×30人/回=12060人=人口の12%)
デイケア	0.6%	193	25回×4時間×2人=200時間
機能訓練	1.2%	392	49回×4時間×2人=392時間
地区組織活動	3.1%	994	12回×21地区×4時間=1008時間
予防接種	1.6%	503	32回×4時間×4人=512時間
その他(防疫、 救護等活動)	2.7%	859	27日×8時間×4人=864時間
<b>地区管理</b>			
調査研究	2.3%	749	5.2日×8時間×18人=749時間
地区管理(分析、 計画、監視等)	8.6%	2783	19日×8時間×18人=2736時間
<b>コーディネート</b>			
個別会議	1.8%	573	72回×4時間×2人=576時間
個別会議以外	3.0%	959	320人×6回×0.5時間=960時間
地域会議	2.8%	906	12.6回×4時間×18人=907時間
地域会議以外	2.4%	765	64回×4時間×3人=768時間
<b>教育研修</b>			
研修企画	1.1%	341	43回×8時間=344時間
実習指導	0.9%	287	36回×8時間=288時間
<b>その他</b>			
業務管理	3.3%	1054	7.3日×8時間×18人=1051時間
業務連絡・事務	12.7%	4128	200日×0.5時間×18人=1800時間 16.2日×8時間×18人=2333時間
研修参加	2.8%	898	6.3日×8時間×18人=907時間
その他	2.4%	788	5.5日×8時間×18人=792時間
<b>総計</b>	<b>100.0%</b>	<b>32400</b>	

### Ⅲ. 資 料

文献一覧

No.	文献名	著者名	雑誌名	ページ	発行年
1	母子保健活動実績と保健婦稼働との関連に関する研究	星且二, 中原俊隆, 岩永俊博, 尾崎米厚, 金子仁子, 高野陽, 郡司篤晃	日本公衆衛生雑誌39巻12号	883-890	1992. 12
2	平成5年度の保健婦の配置のガイドラインに関する研究	主任研究者: 古市圭治			1994
3	全国の市町村が実施している1歳6ヵ月児健康診査の状況 特に人員配置の状況を中心として	田中久恵(杏林大学 保健), 星且二, 中原俊隆, 他	日本公衆衛生雑誌42巻10号	843-857	1995. 1
4	在宅高齢者に対する保健・看護サービスに必要なマンパワの推計	尾島俊之, 斉藤恵美子, 金川克子, 坂田清美, 柳川洋	日本公衆衛生雑誌44巻4号	273-281	1997. 4
5	保健所型別にみた保健事業の実績と人口当たり保健婦数の相関関係に関する研究	多田羅浩三, 新庄文明, 黒田研二, 中林圭一, 湯沢布矢子, 橋本正巳	日本公衆衛生雑誌35巻3号	115-123	1998. 3
6	これから地域保健活動のあり方と保健婦の活動方法に関する研究	主任研究者 湯沢布矢子			1999. 3
7	21世紀の保健福祉対策に従事する保健婦(士)の配置のあり方に関する研究	主任研究者: 北川定謙			1999
8	21世紀の保健福祉対策に従事する保健婦(士)の配置のあり方に関する研究II	主任研究者: 尾島俊之			2000
9	保健所新体制における企画調整機能の現状と課題	中山節子	公衆衛生64巻11号	778-788	2000. 11
10	これからの地域保健福祉対策に従事する保健婦の配置のあり方に関する研究	主任研究者: 尾島俊之			2002
11	保健婦・士の配置根拠に関する研究	波川京子(広島県立保健福祉大学 保健福祉), 近藤裕子	香川医科大学看護学雑誌6巻1号	161-168	2002. 03
12	保健所(健康福祉センター)における企画調整機能強化の促進条件に関する検討	小中綾子(島根医科大学 医学部 看護学科), 岡田尚久	公衆衛生66巻12号	940-945	2002. 12
13	市町村の福祉分野に所属する保健師の業務実態からみた保健師の役割	山岸春江(山梨大学 医学部 看護学科), 山崎洋子, 太田真里子	保健婦雑誌59巻2号	138-143	2003. 02



No.	文献名	著者名	雑誌名	ページ	発行年
14	介護保険施行後の保健師活動に関する調査(第1報) 介護保険業務へのとりくみに焦点を当てて	永田智子(東京大学 大学院医学系研究科 地域看護学), 村嶋幸代, 春名めぐみ, 北川定謙, 倉持一江, 古谷章恵, 堀井とよみ, 湯澤まさみ, 田上豊	日本公衆衛生雑誌 50巻8号	713-723	2003.08
15	保健師の業務時間分析からみた地域保健活動の今後	主任研究者: 筒井孝子野村陽子	保健師ジャーナル 61巻8号	720-729	2005
16	地域保健サービスの担当職員における連携評価指標開発に関する統計的研究	主任研究者: 筒井孝子			2005
17	保健師からみた保健所・市町村と保育所の連携 京都府内市町村の人口規模別比較から	三橋美和(京都府立医科大学医学部看護学科), 福本恵, 榎本妙子, 齋藤幸子, 橋本一子, 高野陽	京都府立医科大学看護学科紀要14巻	61-69	2005.03
18	A県の駐在制度化における保健師活動	平尾恭子, 畑下博世	保健師ジャーナル 61巻2号	152-158	2005.02
19	保健所にて-流れと出会い-	河原豊美	公衆衛生研究 40巻1号	42-45	1991
20	保健所はいま-市町村保健師の立場から-	永井久子	公衆衛生研究 40巻1号	46-51	1991
21	特集 地域保健と保健婦活動 地域保健の新たな展開	伊藤雅治	公衆衛生研究 43巻2号	84-95	1994
22	特集 地域保健と保健婦活動 保健婦活動の現状	平野かよ子	公衆衛生研究 43巻2号	96-106	1994
23	特集 これからの公衆衛生活動 行政からの公衆衛生看護への期待	野村陽子	公衆衛生研究 49巻2号	125-133	2000
24	特集 僻地・離島の保健・医療 離島と駐在保健婦-沖縄県の現状と課題	伊波茂雄	公衆衛生50巻8号	535-544	1986
25	特集街づくり健康づくり私たちのリハ-保健婦からのレポート わが国の保健婦活動	湯沢布矢子	公衆衛生55巻4号	224-228	1991
26	国保における保健婦活動	松浦十四郎	厚生 の指標7巻10号	9-12	1960

No.	文献名	著者名	雑誌名	ページ	発行年
27	市町村新任保健師の活動上の困難からみた看護大学に求められる保健師教育に関する研究	山口佳子(杏林大学 地域看護学研究室), 塚原洋子, 太田ひろみ, 吉田直子, 島田美喜	杏林医学会雑誌34巻4号	386	2003. 12
28	市町村合併モデルを用いた保健師配置課題の検討	波川京子(札幌医科大学 保健医療学部看護学科), 上林康子, 吉留厚子	社会医学研究22号	13-20	2004. 12
29	保健婦駐在の実態から駐在制度の確立に影響した要因を探る	大嶺千枝子(沖縄県立看護大学), 仲里幸子, 川崎道子, 神里千鶴子, 牧内忍, 与那嶺尚子	沖縄県立看護大学紀要3号	33-44	2002. 03
30	総合案内に保健婦が配置されて一年間(1994. 9~1995. 8)のまとめと今後の課題	工藤京子(健生病院)	健生病院医報22巻	71-74	1996. 03
31	神奈川県城市町村における保健婦活動等の実態調査(第3報) 市町村保健婦の適正配置について	井上郁子(神奈川県鎌倉保健所), 他	日本公衆衛生雑誌42巻10(特別附録)	448	1995. 1
32	埼玉県における保健婦の適正配置に関する検査 保健婦配置の状況と活動形態の分析	淵上博司(埼玉県衛生研究所), 鈴木章, 方波見重兵衛, 他	埼玉県衛生研究所報26号	39-44	1993. 03
33	埼玉県における保健婦の適正配置に関する検査 保健婦数の要因分析	鈴木章(埼玉県衛生研究所), 淵上博司, 方波見重兵衛, 他	埼玉県衛生研究所報26号	37-38	1993. 03
34	ニカラグアのNandaimeにおける一次保健サービス利用に及ぼす一次レベルの保健スタッフの配置転換の影響	TakagiFumie(ニカラグア), BettySoto, JoseEspinoza, MiguelOrozco, LuisPerez, LuisCuadra, HanadaKyo, WakaiSusumu	国際保健医療18巻1号	109	2004. 03
35	宮城県における地域栄養対策の現状と今後の方向(第1報) 市町村栄養士の配置と保健所栄養士業務について	男澤留美子(宮城県保健福祉部), 他	日本公衆衛生雑誌42巻10(特別附録)	424	1995. 1
36	全国の市町村が実施している5ヵ月児までの乳児健康診査の状況 特に人員配置の状況を中心として	星且二(東京都立大学), 中原俊隆, 高林幸司, 他	日本公衆衛生雑誌 41巻7号	629-642	1994. 07
37	兵庫県における保健婦家庭訪問活動の10年間の動向 人員配置と訪問数の変化	内藤公一(兵庫県加西保健所)	日本公衆衛生雑誌34巻10附録	191	1987. 1

No.	文献名	著者名	雑誌名	ページ	発行年
38	衛生行政における業務測定	橋本道夫	日本公衆衛生雑誌4号	393-397	1957
39	日本のヘルスマンパワーの現状と課題	橋本正己	公衆衛生	668-678	1975
40	地域保健推進のためのマンパワー活用に関する研究報告書	主任研究者：小野寺伸夫		1-51	1991
41	地域保健のためのヘルスマンパワーの増強	松野かおる	公衆衛生39巻10号	693-698	1975
42	地域住民の健康管理に必要な保健婦の業務測定と保健婦設置基準に関する研究	田中恒男 他	公衆衛生情報4(8)	36-44	1974
43	ヘルスマンパワーの将来供給体制	方波見重兵衛	公衆衛生39巻10号	679-692	1975
44	市町村の母子保健に関わる職種の稼働時間に関する研究	尾崎米厚, 星且二 他	日本公衆衛生雑誌41巻3号	243-252	1994
45	平成元年度厚生省心身障害児研究「母子保健における保健婦活動の効率的展開に関する研究」	主任研究者：須川豊			1989
46	全国の市町村が実施している3歳児健康診査の状況—特に人員配置の状況を中心として—	星且二, 中原俊隆 他	日本公衆衛生雑誌40巻8号	644-652	1993
47	都道府県別保健婦設置状況	厚生省健康政策局計画課	公衆衛生情報10号	29-32	1992
48	保健師駐在制度への考察—高知県の経緯から—	松本女里(高知女大)	高知女子大学看護会誌Vol.29No.1	1-6	2004.6
49	介護保険実施に伴う三重県下の市町村保健婦活動のあり方に関する実態調査・活動報告について	平田幸子(井賀介護保険広域連合)	地域保健Vol.131No.3	74-93	2000.03

厚生労働科学研究費補助金 特別研究事業

研究課題番号：H-17 特別-052

健康フロンティア戦略における保健師配置基準の策定に関する研究

平成17年度 総括・分担研究報告書

平成18年（2006）3月

主任研究者 伊藤 雅治

事務局

社団法人 全国保健センター連合会企画部企画研究室

〒162-0842

東京都新宿区市ヶ谷砂土原町1-1 保健会館別館

TEL (03) 3269-4748 Fax (03) 3269-4759

E-mail: mh c@zenporen.or.jp

URL : <http://www.zenporen.or.jp>